

# きずな



2015年 3月 5日

NO 1017

赤旗井原出張所

井原市井原町103 (Tel 62-6200)

2月27日、井原市議会2月定例会が開会しました。会期は3月18日までの20日間です。27日の開会日、瀧本市長が議案の提案説明を行いました。その中で、平成27年度における予算編成及び主要施策について話された部分を、1017号と1018号で今週同時に発行します。

## 平成27年度における予算編成及び主要施策について

本市におきましては、この度、平成17年3月に合併して、10周年の節目の年を迎えました。この間、新市将来構想・建設計画に基づき、重点プロジェクトを中心に諸事業に取り組み、概ね順調に進展してきたところであります。

こうした中、本市の平成27年度の予算案につきましては、井原市第6次総合計画後期基本計画に掲げる各種施策を着実に推進すると同時に、私の3期目就任後初めての予算として、6本の柱からなる公約実現のため、「選択と集中」により、積極的な予算編成を行ったところであります。

特に、27年度では、「元気いばら創生戦略本部」を立ち上げ、定住促進や地域産業の活性化、人口減少対策など部局横断的な体制のもとに総合的、効果的に「いばらが元気でありつづける施策」を強力に推進することとしております。

中でも、移住促進、企業誘致、特産品PR、販路開拓など、全国へ本市を積極的にアピールする「元気いばらセールスマン事業」なども行ってまいります。

また、健康寿命日本一を目指して、保健師、管理栄養士が市民の身近な場所に出向き実施する「おせっかい保健師健康相談事業」や「健康カフェ」など、受け身から攻めに転じて強力に施策を展開することとしております。

さらに、安全で快適な教育環境の整備・充実を図るため、27年度より4カ年計画により、全ての市内小・中学校・幼稚園へ空調設備を整備することとしております。

その結果、一般会計予算額を199億8,600万円とし、前年度当初比 7,700万円、0.4%減であります。先ほど申し上げました緊急経済対策として、前倒しにより計上いたしました補正予算額を加えますと、前年度当初比0.7%増、202億290万1,000円の過去最大となる大型予算を編成したものであります。

また、特別会計では、国民健康保険事業など7会計で144億2,910万円を、水道、病院、工業用水道の企業会計では、39億826万3,000円を計上しており、あわせますと平成27年度の予算総額383億2,336万3,000円となっております。

それでは、施策の基本方針につきまして、井原市第6次総合計画の後期基本計画に基づき、順次申し述べてみたいと思います。



提案説明する瀧本市長  
(井原放送より)

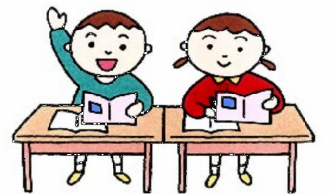
## 心豊かでたくましいひとを育てるまちづくり

**学校教育** 学力向上、いじめや不登校の未然防止を図るため、市内の小学校全学年において35人以下の少人数学級とし、子どもたち一人一人にきめ細やかな指導を行う「いばらっ子イノベーション35推進事業」を継続実施いたします。

また、学習支援員の配置のほか、放課後学習サポート事業や地域土曜学習サポート事業を実施するとともに、スポーツふれあい交流事業「夢の教室」、郷土愛を育む「ふるさと井原魅力発見事業」を、引き続き行い、学力向上や心の教育を推進してまいります。

加えて、不登校対策として登校に向けての相談支援を行う登校支援員の拡充、適応指導教室「大山塾」を拠点とした活動に取り組むこととしております。

**学校施設関係** 校舎の建替事業では、青野小学校管理棟において、27年度での実施設計、仮設校舎の建築、28年度での建設という計画でございます。井原中学校校舎建築事業においては、27年度でのプロポーザル方式による校舎の概略設計のほか、全体構想を策定するなど、大規模プロジェクトの礎となる年度と位置付けております。



また、子どもたちが学業に集中出来る、快適な学習環境を整備するため、先ほども申し上げましたとおり、27年度から30年度の4カ年で、幼稚園、小中学校へ空調設備を設置いたします。まず、27年度においては、井原中学校を除く4中学校の空調設備機器の設置工事と、28年度設置予定の8小学校の設備設計を行うこととしております。これにより、本市の将来を担う「いばらっ子」の確かな学力の向上にも大きく寄与するものと、期待しているところであります。

他の学校施設につきましても、引き続き、営繕工事に取り組み、安全・安心な教育環境の整備充実に努めてまいります。さらに、幼稚園教育の充実のために、4月から3歳児教育を芳井幼稚園で新たに開始いたします。

**社会教育関係** 学校支援地域本部事業として、地域住民の協力による学習支援を実施する「地域未来塾」を、芳井中学校及び美星中学校において、新たに開講いたします。

また、芳井生涯学習センターや青少年研修センターの営繕工事を行うほか、美星天文 **2面へつづく**



## 1面からつづく

台におきましては、昼間や天候の悪い時でも、宇宙の魅力を体感できる、立体映像上映システム4D2Uの導入により、星空シアターのさらなる整備充実を図り、より魅力ある天文台として、リピーターを獲得し、美しい星空の見える「井原市」を広く発信することとしております。

**スポーツ活動の充実** 引き続き、競技力の維持向上と選手に対する育成強化の支援を行うとともに、27年度に、設立40周年を迎える井原市体育協会の、記念事業への支援を行うことにより、市民がハイレベルな競技に接する機会の提供に努めます。



**井原市グラウンドゴルフ場** より一層の利用促進を図るなど、生涯スポーツの振興に努めてまいります。

**地域文化の振興** 地域文化を体感できるまちづくりを目指すにあたり、市内に伝わる民話から6話を選定し、「まんが井原昔ばなし」の制作を予定しております。

**田中美術館** 本年春に特別展「平家物語を描く - 近代によみがえった古典」を、秋には特別展「第27回平櫛田中賞受賞記念展」を開催し、文化の振興を図ることとしております。

## いつまでも健康ではつらつと生きるまちづくり

**健康づくりの推進** 新たな取り組みとして、先ほどご説明いたしましたとおり、保健師、栄養士を地域に積極的に派遣し、身近な場所や地域のイベント等を利用して、気軽に利用できる訪問型相談支援事業「おせっかい保健師健康相談事業」と「健康カフェ」を実施してまいります。

また、私の政治スローガンであります「健康寿命日本一を目指したまちづくり」を実現するため、引き続き「笑って健康元気アップ事業」を行うとともに、新たに参加型相談支援事業として「メタボレンジャー 笑ってチャレンジカップ」を追加し、チームで楽しみながら生活習慣などの改善に取り組んでいただき、健康づくりに対しての、動機づけを推進してまいりたいと、考えております。

さらに、子育て世代の食育推進を図るため、保育園・幼稚園児を対象とした「笑顔の食育参観日」や、各種の健診事業や母子保健事業、予防接種事業などを実施し、市民の健康づくりを積極的に支援してまいります。

**芳井健康増進福祉施設あすわ** 利用者の利便性を考慮し、駐車場の拡充を行うこととしております。

**子育て支援** 保育園の保育料では、引き続き、国が示す徴収基準と比較し、約30%の負担軽減措置を行うこととしております。

また、子ども医療費につきましても、入院・通院とも中学校卒業までの無料化を継続して行うこととしており、より子育てしやすい環境づくりのため、保護者への経済的支援を行ってまいります。さらに、老朽化している大江放課後児童クラブの、移転新築を行うこととしております。

また、25年度から策定を進めております、井原市子ども・子育て支援事業計画は、来月2日に、子ども・子育て会議からの答申をいただく予定であり、新年度からは、本計画に基づき、子どもが健やかに成長し、子育てに喜びや楽しみを実感でき、安心して子どもを生み育てられる環境づくりに努めてまいります。



**高齢者福祉** いきいきデイサービス事業や軽度生活援助サービス事業、寝具類乾燥消毒サービス事業など、在宅福祉サービスの支援を行います。いばらサンサン交流館においては、三世代交流事業を実施するほか、駐車場の拡充を行うこととしております。

**特別養護老人ホーム星の郷** 旧美星診療所の診療所部分の解体を行うとともに、特養部分の耐震改修工事を行い、安心してご利用していただける施設に改善してまいります。

**介護保険事業** 平成27年度から29年度を計画期間とする井原市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画第6期の策定を行ったところであり、この計画に基づき地域包括ケアシステムの構築と介護サービスの充実に努めてまいります。介護保険料につきましても、井原市保健福祉計画策定委員会の答申を尊重し、本市の介護給付費準備基金を取り崩して保険料上昇の抑制を行い、負担の軽減を図ることとしております。

なお、本定例会に介護保険条例の改正案を上程いたしておりますので、適切なご決定をいただきたいと思います。

**障害者福祉** 障害者基本法と障害者総合支援法の理念に基づき、本市の障害者福祉計画及び障害福祉計画第4期を策定したところであり、新年度からは、この計画に基づき、各種の自立支援事業や地域生活支援事業を実施し、障害のある人もない人もお互いに尊重し、支え合いながら、地域の中で共に暮らせるまちづくりに努めてまいります。

特に、重度心身障害児者を在宅で介護されている家族の負担を軽減するために、短期入所サービスが充実されるよう、事業所へ助成することとしております。また、福祉基金事業を拡充し、市内に障害福祉サービス事業所を、開設・整備する際の補助制度を設け、事業者の支援を、行うこととしております。

一方、昨年4月に消費税率が引き上げられたことに伴い、低所得者に対する適切な配慮や、子育て世帯への影響を緩和するための措置として、臨時福祉給付金及び、子育て世帯臨時特例給付金の支給を、来年度も引き続き行うこととしております。

**地域福祉の推進** 本年度策定いたしました井原市地域福祉計画・地域福祉活動計画に基づき、井原市社会福祉協議会や地区社会福祉協議会、さらには福祉団体や市民との協働により、地域住民相互の助け合い・支え合いによる「共助」の取り組みに重点を置き、計画の基本理念であります「地域で支え合う あたたかいまち 井原」を目指してまいります。

第1018号へつづく

この「きずな」は森本ふみお議員のブログ (<http://m.okajcp.com>) でも見るができます

生活に役立ち勇気と確信のわくしんぶん[赤旗]をお読みください(月額日刊紙3,400円日曜版800円)